



なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に

さざれ石の いわおとなりて

こけのむすまで

奈加美神社
第5号
平成21年春号
5月1日発行

泉佐野市中庄834
電話462-7080

奈加美神社改称百周年記念事業 奈加美神社 宮司 北岡忠澄

本年は天皇陛下御即位二十年の佳年であり、天皇皇后両陛下におかせられましても、四月十日に御結婚満五十年をお迎えになられました。

例年四月二十九日には春祭(祈年祭)に併せて昭和祭を斎行致しておりますが、本年は更に天皇皇后両陛下御結婚五十年奉祝祭の祝詞を奏上申し上げ、昭和天皇の大御心を受継がれ、常に日本国と国民の為にお尽くしになられた五十年に深い感謝を捧げ、今後愈々お健やかにあらせられます事と、御皇室の御安泰をご祈念申し上げます。

また、奈加美神社においても大変目出度く、明治四十二年より数えて改称百周年の佳年であります。この慶事の重なりに皆様と共に祝意を捧げたく存じます。

さて、昨年末には第一期工事・社務所新築工事が無事竣工し、お正月・戎さん・節分等、各種行事を新しい社務所で氏子崇敬者の皆様をお迎えする事ができました。これも偏に大神様の御加護と、皆様の温かいご支援ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

第二期工事につきましては、残りの予算を見据えながら、当初より予定の拝殿御屋根の修繕と外壁の塗替えを中心に検討致しております。九月から十月頃に百周年記念大祭を開催させて頂く予定でござ

ざいます。ご奉賛を頂きました皆様には記念大祭を以ちまして改めて記念品と共に御礼申し上げます。存でございます。

なお、百周年記念大祭につきましては、奉祝行事内容について目下検討中でございます。



第二期工事着工

いよいよ第二期工事に着手いたします。

この度の拝殿改修工事に先立ち、まずは拝殿御屋根の雨漏りの原因でもある樹木の伐採から取り掛かりました。

当社の拝殿は昭和四十九年に、本殿の鞘殿は昭和

新社務所(木造平屋建・約80坪)
各種祭典直会用の座敷と、各種ご祈願にご参拝の皆様にもご休憩頂けるタイル土間スペースを併設致しております。座敷は40畳の広さがございますので、純和風の神前結婚式やお茶会など、土間スペースでは絵画・写真など小規模の個展にもご利用頂けます。

六十年に竣工しております比較的新しい建物ですが、建物の御屋根は周りに鬱蒼と生える樹木の折れ枝や落ち葉の堆積、また酸性雨など影響により、かなり劣化しておりますので、まずはその原因を取り除こうと、四月一日開催の責任役員会で決議し、四月二十一日から作業に取り掛かりました。

今回の樹木の伐採は本殿裏の鎮守の森を保全しつつ、建物を長期的に保存管理することを目的としております。伐採前は社殿に樹木が鬱蒼と生茂り建物の全景を眺める事が出来ない程でしたが、伐採後は拝殿・幣殿・鞘殿の連続した社殿の全景が青空の下に浮かびあがり、一段と風格が増した様な気が致しました。

また、六月の初旬には大神様を本殿から新社務所仮殿にお遷しする仮殿遷座祭を斎行し、六月から八月にかけて拝殿の塗替え改修工事を行います。今回は従来の色とは異なり、大阪府指定文化財の本殿の朱色を基調に塗替えますので、色鮮やかなすっきりとした社殿に仕上がる予定です。

なお、この度の百周年記念事業に際しましては三万円以上のご奉賛頂きました方につきましては石版にご芳名を記させて頂きませんが、石版は境内前庭の大燈籠の横に設置の予定をしております。また三万円未満のご奉賛を頂きました方につきましても、境内に一定期間ご奉賛者名を掲げさせて頂きます。

工事中、通常の参拝やお宮参り等の各種祈願祭は新社務所仮殿にてご参拝頂く事となりますので、氏子崇敬者の皆様には大変ご不便をお掛け致しますが、何卒ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

鎮守の杜の植物

—ウラシマソウ—

なにか毒々しくもあり、へびを連想させる一風変わった植物ですが、名前の由来を聞くとなんとなく風情があるようにも思えます。

サトイモ科テンナンショウ属で、まっすぐ伸びた茎の先にはヤツデに似た形の葉が付き、花茎の先には仏炎苞と云われる部分に包まれて花軸があり、その先から付属体とよばれる糸状のものが垂れ下がります。その糸状の付属体を浦島太郎の釣り糸に見立て、このような名前が付けられたようです。なるほどおもしろいネーミングです。

同じ仲間にマムシソウ・ユキモチソウ・ムサシアブリなどがあり、たまに園芸店でも見かけますし、泉州の山にもよく自生しているようです。

奈加美神社では本殿裏の鎮守の杜のなかに少し自生しており、四月頃から咲き始めます。写真のとおり地味な植物ですが、見方を変えればなかなか“渋い”です。

また、今年も花菖蒲（五月末～六月）・蓮（六月～七月）・サギ草（七月～八月）など見頃を迎えますので、是非お立ち寄り下さい。



ご祭神の紹介

第3号では主祭神の菅田別命について紹介致しましたが、今回は佐野川と山出の氏神でありました稲荷神社の神様・お稲荷さんを紹介致します。

現在、お稲荷さんは本社（本殿）と、末社大宮稲荷社にそれぞれお祀りされております。稲荷神社の総本社は京都の伏見稲荷大社ですが、全国には稲が成る稲成神社や稲が生える稻生神社の社名も見られます。

お稲荷さんと云えば一般的に倉稲魂神（うがのみたまのかみ）がお祀りされておりますが、当社のお稲荷さんは次の三柱の神様の総称です。

豊受保大神（とようけもちのおおかみ） 食物の神

水久萬利神（みくまりのかみ） 水の神

美刀志乃神（みとしのかみ） 穀物の神

倉稲魂神を含めいずれも農業に関するの神様で、それぞれの御神徳の働きにより五穀豊穣をもたらします。またその生産性から商工業の神様としても崇められ、商売繁盛の神様としても有名です。

左の絵は佐野川稲荷の御神影板絵で、右手には鎌左手には稲を持つ比較的若い御姿が描かれています。裏面には神殿平面図と鳥居立面図が描かれ、その上端に「元和元年一二月安宅彦右衛門信綱筆」と記されています。

因みに、平成

十二年に新調された上瓦屋の地車の正面の番号持ちはこの佐野川稲荷の御神影を参考に彫刻されたものです。



神道豆知識 ～其の五～



御札や御守を複数持つと神様同士が喧嘩すると云われますが・・・

日本は古来、八百万（やおよろず）の神々の国と云われ、多くの神様が共存してきました。ですから複数の御札をお祀りしたり、御守をたくさん持つてるといって神様同士が喧嘩することはありません。

ただし御札については正しいお祀りの仕方を心掛けて下さい。まず、伊勢神宮の神宮大麻（天照大御神さまの御札）を中央に、次に氏神さま（奈加美神社）の御札を向って右側に、次に特に信仰をされている神社や旅先の神社で受けられた御札は向って左側にお祀りします。

最近では家にスペースが無いから神棚は祀らないと云う話を聞くことがありますが、それぞれのスペースに合わせていろんなお祀り仕方がありますので、どうぞお気軽にご相談下さい。まずは御札をお祀りする事から始めましょう。



ちびっこ巫女さん募集

奈加美神社でお神楽を習いませんか？
神社のお祭りにお神楽を奉納して頂きます。
小学校の中高学年のお子様で興味のある方はお問い合わせ下さい。